髄注を受ける患者さんへ

患者氏名：　　さん　　担当医師：　　担当看護師：

月日	／	／	／
経過	入院日（髄注前）	髄注後	退院日
達成目標	◇入院生活や治療について医療スタッフの説明を理解することができる。 ◇疑問があれば質問することができる。	◇副作用の症状があるときはすぐに知らせる。 ◇安静指示を守ることができる。 ◇転倒しない。	◇副作用の症状があるときはすぐに知らせる。 ◇退院後の生活について理解することができる。 ◇転倒しない。
治療・処置	身長・体重をはかります。	処置室で髄注をします。（　　：　　）開始 髄注後は腰に絆創膏を貼っています。	髄注をした箇所の傷の状態を確認します。かさぶたができていたら絆創膏をはがします。
薬剤	*持参の薬は一旦お預かりして確認します。看護師へ渡してください。		
検査	治療のために必要な検査（採血、採尿等）を行ないます。		
安静度	制限はありません。	髄注後1時間は枕をせずに仰向けで過ごしてください。 1時間経ったあと、初めて歩くときは看護師が確認するので歩く前にナースコールで知らせてください。	制限はありません。
食事	髄注の予定時間の3時間前までに食事を済ませてください。そのあとからは食事・飲水をしないようにしてください。 （　　：　　）以降 	麻酔を使用した場合は麻酔から覚めたあと、まずは飲水からはじめます。看護師が確認するので飲水前にナースコールで知らせてください。その後制限はありません。	制限はありません。
清潔	髄注の前までにシャワー浴ができます。	髄注後に体を拭くことができます。	制限はありません。
排泄	髄注の前にトイレを済ませてください。	抗がん剤の点滴をしてしばらくは尿や便などに抗がん剤が残っています。トイレは必ず座ってするようにしましょう。トイレのあとはハンドソープで手をよく洗いましょう。	
注意点 確認事項	*入院生活について説明をします。「入院のご案内」も参考にしてください。 *連絡先など入院時間診票の内容を確認します。 *アレルギーのある方はお知らせください。 *常食以外を希望される場合はお知らせください。 *来院の時間が遅くなりそうな場合や、風邪の症状がある・体調不良がある場合は事前にご相談ください。 *髄注について説明します。「小児の鎮静鎮痛に関する説明書」「腰椎穿刺・抗がん剤髄腔内投与説明書」も参考にしてください。	*気分が悪い・嘔吐した・痛みがある・しびれがある等の症状がある場合はすぐに知らせてください。吐き気止めや痛み止めを使用することができます。 *頭痛や吐き気などの副作用（低髄圧症候群）を予防するため、髄注の後は1時間程度、枕をせずに（頭を低くした状態で）仰向けで安静にしていただきます。 	*重篤な副作用がなければ退院が可能です。退院後の生活や緊急時の対応について説明します。 *退院前に看護師が検温、忘れ物の確認をします。 *お支払いの概算書をもって1階会計窓口（土日祝祭日は時間外受け付け）でお支払いください。概算書は支払いのあとに病棟看護師へお渡しください。 *腰の絆創膏をしたまま退院される場合は、次の日にはがしてください。出血が続く場合は貼替えをしてください。退院前に絆創膏をお渡しします。

※状況に応じて予定が変更になる場合があります。ご不明な点がありましたら、お尋ねください。

本人・家族への説明　　年　　月　　日　　説明者署名：

九州がんセンター　小児科

2018年９月作成